

家庭学習の手引き

令和 5 年度版



「家庭学習の手引き」について

小学生の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように努めていますが、家庭と協力し合うことで、子どもたちの力はさらに何倍にも高められます。家庭学習の習慣化が子どもたちの「生きる力」を高めていくと考えられます。

本校でも、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。保護者の皆さまには、この「家庭学習の手引き」をお子様と一緒に活用していただきたいと思っております。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

美浜町立上野間小学校

1 家庭学習のねらい

- 1 学校で学習した内容を、より確かなものにします。
- 2 望ましい学習習慣が身に付きます。
- 3 自ら学ぼうとする態度や学習への自信が身に付きます。
- 4 家族がふれあう機会となります。



生涯にわたる
「学び」へと
つながります。

2 家庭学習のポイント

(1) 習慣づけ

- ①毎日必ず学習する。
 - ・できるだけ時間を決めて取り組む。
- ②毎日、同じ場所で行う。
 - ・自分の勉強机、居間のテーブル、食卓など
- ③テレビや音楽など、学習の妨げになるものはつけない。
- ④部屋や机上の整頓、学習時の姿勢等に気を付ける。
- ⑤高学年になるにつれ、自主的に課題を設けてできるようにする。



(2) 学習時間の目安

- 〔学年〕×10分以上 (例) 2年生……20分以上

3 ご家庭へのお願い

- お子さんと、家庭学習の大切さについて、機会を設けて話し合しましょう。
- 放任でも過干渉でもなく、子どもにとって適切な声かけや見届けをしましょう。
- 「やったこと」「できたこと」を認め、ほめたり励ましたりしましょう。
- 難しい問題でも投げ出さず、最後まで取り組もうとする気持ちを育てましょう。
- お子さんが困っているときは、相談に乗ってあげましょう。

「よくできたね」
「きれいに書けたね」
「がんばってるね」
「これもできそうだね」
「もう一度やろうか」等

